

都道府県別賞一等

私の未来と生命保険

愛媛県 西条市立河北中学校 二学年

志賀 乃愛

私は今までの十四年間生きてきて、一回も大きな事故に遭ったり、重病になったことがありません。事故や病気などはいつ起きるかわからないし、予期せぬ時に突然起こります。私は、そんな非常事態に備えることができる生命保険について、気になることを調べたり、家族に聞いたりしました。

まず、生命保険とは、一定の金額を支払うことで、病気やケガ、介護、死亡などのリスクに備えておくことができる生活保障の仕組みです。生命保険の中にもたくさんの種類があります。まずは『死亡保険』です。万が一、被保険者が亡くなった場合に保険金が支払われます。次に『医療保険』です。病気やケガで入院や手術をした場合に保険金が支払われます。そして、『介護保険』です。要介護状態になった場合に保険金が支払われます。『学資準備のための保険』、『個人年金保険』などが代表的です。死亡、病気、ケガ、介護など、様々なリスクがある中でどのようなリスクに備えたいかによって選ぶ保険が変わってきます。一定期間のみ保障する定期型と、一生涯保障する終身型など、保険によって、それぞれ保障の期間が違います。予算は、これらの保障内容や保険期間によって大きく異なります。私はこれを調べて、予算や備えたいリスクは人それぞれなので、よく考えて、自分に一番あった保険を選ぶのが大切だと思いました。

次は、母に生命保険について聞きました。母も色々な生命保険に入っています。その一つが『ガン保険』です。母は看護師で、ガンになったけれど、お金がないために、治療が受けられず若くして亡くなっていく患者さんをたくさん見てきました。それを見て母は、もしもの時にお金に困らないように、保険を見直し、新たにガン保険を追加したそうです。私はその話を聞いて、保険に入っていない人がいることや、保険に入っていないことによって十分な治療が受けられない人がたくさんいることを知り、驚きました。

私は、将来のために、更に生命保険について学び、将来に十分な備えができるようにしていきたいと思います。そして将来は、老後や非常時に備えた生命保険への加入や見直しをしていきたいです。